

医学系研究に関する情報の公開について

(3/-85)

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築
所属科*	消化器内科
研究責任者*	山田拓哉
研究実施期間	開始 倫理審査委員会承認後～ 終了 西暦 2024年 12月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	消化器内視鏡検査・治療を受けた方 (約 50000 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 倫理審査委員会承認後 ～ 至 西暦 2024年 12月 31日
研究概要*	<p>【背景】</p> <p>本研究 (事業) は、日本全国の内視鏡関連手技・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者に最善の医療を提供することを目指す研究である。このような内視鏡関連手技の全国規模の情報集積は初めてのところみであり、患者側だけでなく、医療を提供する側にも大きな利益をもたらすものである。</p> <p>【目的・意義】</p> <p>本研究 (事業) で集められたデータを分析することで以下のことを明らかにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内視鏡関連手技を行っている施設診療科の特徴 ●医療水準の評価 ●適正な消化器内視鏡専門医の配置、ならびに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置 ●早期癌登録に対する精確な情報収集 ●内視鏡検査、治療を受けた方の予後 ●内視鏡検査・治療の医療経済的な情報収集 ●これから内視鏡関連手技を受ける方の死亡・合併症の危険性、など <p>これにより、各施設は自施設の特徴や課題をはっきりと理解した上で、改善にとりくむことが可能になる。また施設単位だけでなく、医療圏レベル、地域レベル、全国レベルで医療の水準を明らかにすることで地域単位、国単位での比較が可能になる。さらに、内視鏡関連手技にともなうリスクを理解した上で、患者、患者家族とともに手術・治療の方針を決定</p>

別紙第2号様式

	<p>することができるようになる。</p> <p>日本消化器内視鏡学会は、消化器内視鏡に関連した偶発症を1983年から55年毎に全国的に調査し、これまでに5回の発表を行ってきた。この様な個別調査を逐次行うことなく、容易に精確な諸情報が取得できる。加えて、適切な診療報酬決定のための情報提供が可能となると共に、全国の皆様が安心して内視鏡検査・治療を受けられるようにするため、よりよい専門医制度のあり方を検証するための基礎資料ともなり、さまざまな研究と連携して運営することで、臨床現場がさらに充実した医療を提供でき、ひいては新たな医療に取り組む手助けをすることができる。</p>
<p>倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*</p>	<p>連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。</p>
<p>研究の問い合わせ先*</p>	<p>大阪労災病院 堺市北区長曾根町 1179-3 電話番号：072-252-3561 当院研究責任者 消化器内科 山田拓哉 研究代表施設：電話番号 03-3525-4670、日本消化器内視鏡学会事務局・Japan Endoscopy Database (JED) Project 委員会</p>

* 記入必須項目